

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

第2次総合計画

基本方針(政策)	1	産業基盤の維持・発展を図るとともに京丹後型「新グリーン経済」を構築します
計画項目(施策)	1	新経済戦略による「新グリーン経済」の構築
＜施策分野＞		＜商工業・雇用＞

所管部局	所管部局長の氏名
商工観光部	新井 清宏

1. 総合計画で掲げている目的など **PLAN**

施策の目的	商工業の振興と未来志向型産業・ワークスタイルの創造に向けた取り組みを行い、地域経済を発展させるとともに、地域雇用を維持・拡大させ、市民生活の向上と定住基盤の確保を図ります。
施策方針(めざす姿)	伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属業をはじめ、市内産業・市内事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、京丹後市の特性を活用した未来志向型の産業・ワークスタイルを創造します。 また、新たな産業・新たな事業所の創出を図り、雇用・就業機会の開発と就業を促進し、就労人口を増加させます。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市新経済戦略	市内企業の経営安定・成長発展への支援、企業立地の推進など、商工業の振興を総合的に推進するための経済戦略。「第1次京丹後市総合戦略・後期基本計画」における「商工業の振興」の推進を担うアクションプランとして策定。	平成25年9月	平成25年度～	
第2次京丹後市観光振興計画	第1次計画の検証と見直しを行うことにより、これらの諸課題について対応し、観光立市の実現を目指すべく第2次計画を策定。市、観光関係団体、観光事業者、市民などが観光立市の実現という共通の目標に向かって、それぞれの立場で取り組むものとして位置づけ。	平成25年6月	平成25年度～平成29年度	

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧 **DO**

CHECK

行政の主な取組 ↓			予算額(単位:千円)		事務事業の概要					評価結果	
			H26決算額	H27予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	施 策 貢献度	今後の 方向性	
事務事業名称・事業内容(実績)			担当課								
① 市内企業等の経営安定と再生支援											
○ 経営基盤の維持・強化や経営改善・事業再生への取り組みを支援し、企業の経営安定化と再生を図るとともに、伝統産業をはじめ各産業や商店街の維持・再生を図ります。											
1	あんしん雇用環境づくり事業	商工振興課	317	500 (500)	市規 定	単費	○	サー ビス	B	終了・ 廃止	
事業主の経費負担を軽減し、雇用の安定化を図るため助成金を交付(利用事業者数7社、交付13件)											
2	丹後地域地場産業振興センター運営費補助金【取組②にも該当】	商工振興課	29,338	29,850 (29,850)	なし	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
地場産業振興センターの運営管理、地場産品のPR、販路拡大事業に対し補助金を交付											
3	京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金【取組②にも該当】	商工振興課	2,660	2,660 (1,360)	なし	単費	○	サー ビス	A	縮小	
「特産品ショップ・ホッと丹後」の運営、販路拡大・PR事業の実施に対し補助(販売実績17,707千円)											
4	地域ブランド推進連携事業【取組②にも該当】	商工振興課	592	471 (471)	なし	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
「全国地域ブランド連携協議会」へ参画し、東京駅近くでのPR&物産販売、イベント出展等を実施											
5	ブランドビジネス支援事業【取組②にも該当】	商工振興課	2,128	- -	なし	単費	○	サー ビス	B	終了・ 廃止	
自治体運営型通販サイト「京丹後sg」を開発、京丹後産品の情報を発信											
6	あんしん借換資金等利子補給事業【取組②にも該当】	商工振興課	52,654	53,000 (53,000)	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
市内商工業者等が事業資金を借り入れ、返済の際に負担する利子の1.7%を超える分を補給(1,362件)											
7	信用保証料補助金【取組②にも該当】	商工振興課	43,566	42,000 (42,000)	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
市内商工業者等が事業資金を借り入れた際に負担する信用保証料の一部を補助(293件)											
8	商工業支援事業【取組②にも該当】	商工振興課	19,019	12,749 (12,749)	市規 定	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
市内事業者等が行う空き店舗の活用、新商品、ジオパーク関連商品の開発等に対して補助金を交付											
9	和装産地連携事業【取組②にも該当】	商工振興課	101	3,201 (3,201)	なし	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
10	ちりめん関連事業補助金【取組②にも該当】	商工振興課	2,237		市規 定	単費	○	サー ビス	S		
市きもの交流会に対して補助金を交付(会員数17事業所)、京丹後ちりめん祭に対して経費補助											
11	丹後ファッションウィーク開催委員会補助金【取組②にも該当】	商工振興課	3,122	4,000 (4,000)	市規 定	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
「丹後ファッションウィーク開催委員会(販路開拓事業等を実施)」に対して補助金を交付											
12	シルクのまちづくり事業【取組②にも該当】	商工振興課	967	1,326 (1,326)	なし	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
「絹のふるさと京丹後推進会議」の運営、「シルクのまちづくり市区町村協議会」(全国26市区町)への参加等											
13	織物合理化設備導入支援事業補助金【取組②にも該当】	商工振興課	7,998	- -	市規 定	単費	○	サー ビス	S	終了・ 廃止	
織機用ダイレクトジャカードコントローラ装置等を導入する市内織物事業者に対し補助金交付(28件)											
14	機械金属業振興事業【取組②にも該当】	商工振興課	84	1,068 (1,068)	なし	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
機械金属業が行う展示会出展、ビジネスマッチングを支援(事業費への支援は別事業で実施)											
15	人材育成事業【取組②にも該当】	商工振興課	9,771	10,479 (10,479)	なし	単費	○	維持 管理	A	現状維 持	
「丹後・知恵のものづくりパーク」の管理運営・人材育成経費の一部負担、「挑戦型企業セミナー」開催											
16	地域消費喚起・生活支援型交付金事業【明許繰越】【施策4【観光】にも該当】	商工振興課／観光振興課	-	159,600 (6,440)	新規事業(平成26年度事業の全部を繰り越しして実施する事業)						
プレミアム付商品券発行、旅行・旅客運送事業者が実施する誘客効果が期待できる事業に対して補助金を交付											

② 市内企業の成長促進及び新産業の創出											
○ 経営革新、技術開発など企業の成長につながる積極的なチャレンジや、新たな事業分野への進出、新事業創出への取り組みを支援し、企業の成長及び新規創業と新産業の創出を図ります。											
17	産学連携推進事業	商工振興課	39	143 (143)	なし	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
京都工芸繊維大学京丹後キャンパス(京都工繊大地域連携センター)の維持管理、交流イベントを実施											
18	産学連携研究等促進事業	商工振興課	1,330	1,000 (1,000)	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
市内中小企業者と大学等研究機関が実施する共同研究のための経費に対し補助金交付(2件)											
19	商工業振興プロモーション推進事業	商工振興課	5,400	- -	なし	単費	○	サー ビス	A	終了・ 廃止	
松本重太郎翁の偉大な功績、起業精神等を顕彰するテレビ番組の制作に協力。H26.12.30放映											
20	地域資源活用ビジネス創出事業	商工振興課	491	1,292 (1,292)	なし	単費	○	サー ビス	A	終了・ 廃止	
慶応義塾大学と連携し、コミュニティビジネス等の地域活性化策の検討とモデル的実践活動を実施											
21	地域経済循環創造事業	商工振興課	58,000	- -	国規 定	国府 全額	-	サー ビス	S	現状維 持	
民間事業者が金融機関や大学等と連携して実施する地域資源を活用した地域活性化に資する事業を支援(3件)											
22	地域経済循環創造事業【明許繰越】	商工振興課	-	35,000	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業						
民間事業者が金融機関や大学等と連携して実施する地域資源を活用した地域活性化に資する事業を支援(1件)											
23	経済人材ネットワーク構築・強化事業【取組③にも該当】	商工振興課	5,870	- -	なし	単費	○	サー ビス	A	終了・ 廃止	
松本重太郎翁顕彰プロジェクト「関西経済交流シンポジウム」を開催(H27.1.26)											
24	新シルク産業創造事業	商工振興課	63	- -	なし	国・ 一部	含む	サー ビス	S	拡大	
新シルク産業創造に向けた研究会の設置・運営											
25	新シルク産業創造事業【明許繰越】	商工振興課	-	51,782 (23,370)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業						
新たな養蚕技術の研究開発等を行うための旧溝谷小学校施設改修設計、無菌・周年養蚕に向けた試験養蚕経費等											
26	起業アイデアコンペ開催事業	商工振興課	904	1,203 (1,203)	なし	単費	○	サー ビス	B	現状維 持	
新たなビジネスを事業化するため、市の地域資源を活用した大学生発案の起業アイデアのコンペを実施											
27	丹後地域地場産業振興センター運営費補助金【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	29,338	29,850 (29,850)	なし	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
地場産業振興センターの運営管理、地場産品のPR、販路拡大事業に対し補助金を交付											
28	京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	2,660	2,660 (1,360)	なし	単費	○	サー ビス	A	縮小	
「特産品ショップ・ホッと丹後」の運営、販路拡大・PR事業の実施に対し補助(販売実績17,707千円)											
29	地域ブランド推進連携事業【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	592	471 (471)	なし	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
「全国地域ブランド連携協議会」へ参画し、東京駅近くでのPR&物産販売、イベント出展等を実施											
30	ブランドビジネス支援事業【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	2,128	- -	なし	単費	○	サー ビス	B	終了・ 廃止	
「全国地域ブランド連携協議会」へ参画し、東京駅近くでのPR&物産販売、イベント出展等を実施											
31	あんしん借換資金等利子補給事業【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	52,654	53,000 (53,000)	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
市内商工業者等が事業資金を借り入れ、返済の際に負担する利子の1.7%を超える分を補給(1,362件)											
32	信用保証料補助金【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	43,566	42,000 (42,000)	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
市内商工業者等が事業資金を借り入れた際に負担する信用保証料の一部を補助(293件)											
33	商工業支援事業【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	19,019	12,749 (12,749)	市規 定	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
市内事業者等が行う空き店舗の活用、新商品、シオパーク関連商品の開発等に対して補助金を交付											
34	和装産地連携事業【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	101	3,201 (3,201)	なし	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
全国和装産地市町村協議会への負担金及び森田翁顕彰会への負担金を支出											
35	ちりめん関連事業補助金【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	2,237		市規 定	単費	○	サー ビス	S		
市きもの交流会に対して補助金を交付(会員数17事業所)、京丹後ちりめん祭に対して経費補助											
36	丹後ファッションウィーク開催委員会補助金【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	3,122	4,000 (4,000)	市規 定	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
「丹後ファッションウィーク開催委員会(販路開拓事業等を実施)」に対して補助金を交付											
37	シルクのまちづくり事業【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	967	1,326 (1,326)	なし	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
「絹のふるさと京丹後推進会議」の運営、「シルクのまちづくり市区町村協議会」(全国26市区町)への参加等											
38	織物合理化設備導入支援事業補助金【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	7,998	- -	市規 定	単費	○	サー ビス	S	終了・ 廃止	
織機用ダイレクトジャカードコントローラ装置等を導入する市内織物事業者に対し補助金交付(28件)											
39	機械金属業振興事業【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	84	1,068 (1,068)	なし	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
機械金属業が行う展示会出展、ビジネスマッチングを支援(事業費への支援は別事業で実施)											
40	人材育成事業【再掲】【取組①にも該当】	商工振興課	9,771	10,479 (10,479)	なし	単費	○	維持 管理	A	現状維 持	
「丹後・知恵のものづくりパーク」の管理運営・人材育成経費の一部負担、「挑戦型企業セミナー」開催											
41	企業立地支援事業【再掲】【取組③にも該当】	商工振興課	9,050	33,249 (33,249)	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
工場等の新增設と雇用促進を図るため助成金・奨励金を交付(新制度分1件、旧制度分5件)											
③ 企業誘致の推進											
○ 基盤整備や支援措置の実施、誘致活動等により、市内外からの企業誘致を積極的に推進します。											
42	企業立地促進事業	商工振興課	2,651	3,068 (3,068)	なし	単費	○	内部 管理	S	現状維 持	
企業立地・事業立地を促進するための活動(展示商談会出展、企業訪問)などを実施											
43	工業団地維持管理事業	商工振興課	1,281	996 (996)	なし	単費	○	維持 管理	S	現状維 持	
市内工業団地内の維持管理(草刈・雑木伐採業務等)											
44	企業立地支援事業【取組②にも該当】	商工振興課	9,050	33,249 (33,249)	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
工場等の新增設と雇用促進を図るため助成金・奨励金を交付(新制度分1件、旧制度分5件)											
45	経済人材ネットワーク構築・強化事業【再掲】【取組②にも該当】	商工振興課	5,870	- -	なし	単費	○	サー ビス	A	終了・ 廃止	
松本重太郎翁顕彰プロジェクト「関西経済交流シンポジウム」を開催(H27.1.26)											

④ 新グリーン経済の構築											
○ 農商工観連携等横断的な産業連携による新たな付加価値の創造、本市の地域特性・地理的特性を活用したワークスタイルの創造により「新グリーン経済」の構築をめざします。											
46	京丹後型ワークスタイル創出事業	商工振興課	389	-	なし	単費	○	サー ビス	S	拡大	
テレワークに関する企業ニーズ調査、テレワーク推進セミナーの開催(参加者26人)等				-							
47	高機能急速冷凍装置導入事業【再編交付金活用事業】	商工振興課	1,687	-	なし	国・ 一部	-	サー ビス	A	拡大	
高機能急速冷凍装置の導入可能性調査(製品調査、事例調査、ニーズ調査、事業化調査等)				-							
⑤ U・Iターンやマッチング促進、人材育成等による就業者数の拡大											
○ 商工業の振興を通じて雇用・就業機会の開発を図るとともに、U・Iターンや企業と人材とのマッチングの促進、人材育成等により、就労人口の拡大を図ります。											
48	地域雇用環境整備特別対策事業	商工振興課	66,067	11,000	国規 定	府・ 一部	含む	サー ビス	A	終了・ 廃止	
雇用創出や処遇改善等を行う各事業を実施(雇用創出:17件42人、就業支援:5人、処遇改善:3件)				-							
49	就職促進・人材確保対策事業	商工振興課	750	2,099	なし	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
一般求職者や大学卒業予定者等を対象に地元企業参加する就職面接会を開催(参加企業31社、参加者111人)				(1,849)							
50	職業能力向上支援事業	商工振興課	653	780	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
丹後地域職業訓練協会等が実施する研修の受講修了者に対し、研修費用の一部を助成(70人、118件)				(780)							
51	職業訓練実施事業補助金	商工振興課	2,897	2,979	市規 定	単費	○	サー ビス	A	現状維 持	
技能訓練機会を提供する団体を対象に、職業訓練事業の実施経費への補助金を交付				(2,979)							
上記の「行政の主な取組」への位置付けが困難な事業											
52	商工総務一般経費	商工振興課	5,645	4,380	なし	単費	○	内部 管理	S	現状維 持	
商工振興推進のための業務に必要な経費及び公用車(9台)の維持管理経費				(4,380)							
53	商工会助成事業	商工振興課	81,158	80,503	市規 定	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
市商工会が実施する小規模事業者への経営支援活動等に対して補助金を交付				(80,503)							
54	新経済戦略推進事業	商工振興課	1,146	1,016	市規 定	単費	○	内部 管理	S	現状維 持	
新経済戦略推進会議及び企画委員会の開催(3回)、京丹後経済成長戦略懇話会の開催(6回、参加者延730人)				(1,016)							
55	商工振興一般経費	商工振興課	3,173	3,610	なし	単費	○	サー ビス	S	現状維 持	
地域産業の活性化を目的に活動する団体及び産業文化祭実行委へ補助金を交付。共通事務費・旅費等。				(3,610)							
56	峰山織物センター管理運営事業	商工振興課	3,569	3,489	市規 定	単費	○	維持 管理	B	現状維 持	
峰山織物センターの管理運営経費(延利用人数:13,427人)				(3,229)							
57	指定管理施設運営事業	商工振興課	5,282	5,289	市規 定	単費	○	維持 管理	A	現状維 持	
大宮織物ホール及び丹後商業活性化センター等4施設を指定管理者制度により管理運営				(2,706)							
58	商工施設一般経費	商工振興課	104	1,429	なし	単費	○	維持 管理	S	現状維 持	
あしぎぬ苑等、商工業の振興に資する施設の維持管理				(1,423)							
59	市場開拓等地域産業活性化事業【地方創生先行型交付金事業】【明許繰越】	商工振興課	-	50,035	新規事業(平成26年度事業の全部を繰り越して実施する事業)						
地域産業に関する需要創造事業、販路・新市場開拓事業、経済循環創出型大型設備投資への支援等				(36,035)							
計			432,153	615,246	(369,275)						

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。
※ 9と10、34と35の事務事業は、平成27年度当初予算において統合され1つの事業となっていることから、H27予算額及び今後の方向性(施策評価)欄を結合表示しています。

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割											
市民等の役割	① 事業の維持・発展を図り、雇用の維持・拡大に努めます。 ② 企業誘致情報を市に提供します。 ③ 子どものUターンを促進するため、必要な情報を提供します。										

【参考】個別計画で掲げている目標値									
指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値		
			年度		年度		年度		
京丹後市新経済戦略									
全事業所数	経済センサス	件	4,515	H23	4,515	H23	4,230	H28	
全従業員数		人	23,886	H23	23,886	H23	22,000	H28	
市内総生産	市町村民経済計算	-	1810億1600万円	H21	1731億1300万円	H24	1882億円	H28	
工業製造品出荷額等	工業統計調査、経済センサス	-	725億3086万円	H22	554億4432万円	H25	754億円	H28	
商業年間商品販売額	商業統計調査、経済センサス	-	873億2100万円	H19	584億2300万円	H24	908億円	H28	
立地企業支援件数		件	8	H19- H24年度	3	H25- 26	10	H25- H28年度	
高校生地元就職率	市内5校調査	%	27	H24	33	H26	40	H28	

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針 (めざす姿)	伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属業をはじめ、市内産業・市内事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、京丹後市の特性を活用した未来志向型の産業・ワークスタイルを創造します。 また、新たな産業・新たな事業所の創出を図り、雇用・就業機会の開発と就業を促進し、就労人口を増加させます。							
めざす 目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
	全従業員数(経済センサス活動 産業横断 企業集計 確報 基準)	人	22,013	H24	22,013	H24	23,000	H36
	工業製品等出荷額(工業統計調査基準)	億円	654.3	H24	554.4	H25	720	H36
	商業年間商品販売額(経済センサス活動 卸売業・小売業 卸売・小売計)	億円	584.2	H24	584.2	H24	640	H36
	年平均地元有効求人倍率	倍	0.98	H26	1.19	H26	1.2	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価 **CHECK**

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○平成26年度に企業立地支援制度に基づき事業所2件を指定。操業開始に伴い市民正規雇用が12人増加した。(平成27年度指定予定分を含めると、25～30人程度増加)。これにより従業員及び出荷額へのプラスの効果が生じている。 ○支援施策の実施と景況回復の相乗効果により、機械金属業では、6四半期連続して業況DI値が±0付近で推移(H27.3は+15)。出荷額が増加している。	○産業と雇用の拡大のため、森本工業団地を含め企業立地を推進する必要がある。 ○シルク関連産業に関し、既存生産品市場の拡大は期待しにくい面があるため、新シルク産業創造事業で新たな付加価値を創出しシルク関連産業を再興する必要がある。 ○UIターン促進により、上記に伴う人材不足を解消する必要がある。 ○市外ECサイト対策を行い、市内消費を増やす必要がある。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか] **CHECK**

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	めざす目標値に掲げる指標については、工業製品等出荷額において計画作成時の数値を下回る状況となっている。 しかしながら、業種により差はあるものの、主要産業である機械金属業及び食品製造業については、新経済戦略にもとづく施策の推進により新たな工場立地・設備投資・顧客開拓等が行われ、国内の景況回復とも相まって、平成26年度から増加基調にあるところであり、その関係もあって、H26平均有効求人倍率はほぼ目標値に到達している。また商業についても、プレミアム商品券事業を制度化し府の補助事業等も活用しながら実施しているところであり一定の効果が期待できるところとなっている。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組) **ACT**

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	新シルク産業創造事業を着実に実施することにより、既存産業振興、新産業創造創出、企業誘致を図る。	地域再生戦略交付金
	2	商業について、流入消費(観光消費等)拡大と流出消費(市外ECサイト等)抑制に向けた対策を拡充する。	観光消費拡大については、観光振興費で計上
歳出抑制(歳入確保)の考え方	1	ブランドチャレンジショップ運営事業について、民間主体による運営に切り替えていき、補助金を減減させる。	
	2	地域資源活用ビジネス創出事業(慶応大学連携事業)を終了させる。	
	3	工業団地に関し用地リース制度導入や優遇制度PR等により早期の立地を実現する	賃貸料収入の発生により、特会繰出金が減少
	4	新経済戦略推進会議での施策評価に基づき、評価の低い事業について縮小・スクラップ	

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	03あんしん雇用環境づくり事業					
細事業名	01 あんしん雇用環境づくり事業						決算書	P.218	
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市			計画項目	① 定住の促進			
決算額		①	最終予算額		②	不用額	(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
317千円			318千円			1千円		99.6 %	4,200千円
目的	国の助成金制度とあわせ市独自の助成金を交付することにより、解雇の予防と雇用の安定化を図ると同時に、休業機会を捉えた人材育成を推進する。								
主要な事務・事業及び成果の概要	○中小企業緊急雇用安定助成金 317千円								
	景気の変動などにより事業活動の縮小を余儀なくされた中小企業事業主が、その雇用する労働者を一時的に休業させた場合の休業手当等に係る基準賃金額の一部を助成するものであり、中小企業事業主からの申請に基づき助成した。								
	・ 交付件数 13件								
	・ 利用事業所数 7社								
	※平成26年度は、通常休業分（休業月（休業期間の初日）が平成26年3月以前の分）が交付対象。								
(参考) 助成金交付実績 (単位：件、千円、社)									
	区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
	交付件数	10	987	620	468	391	226	13	
	交付額	1,368	135,286	28,033	18,518	15,507	8,185	317	
	利用事業所数	6	125	91	58	48	32	7	
※平成20年度は12月からの実施									
主な財源									
評価・課題等	○平成26年度は、国の制度改正及び休業せざるを得ない企業や休業日数が減少したことにより、助成金交付額が大幅に減額となった。 ○本制度は世界同時不況下における緊急対策として創設したが、当該不況や災害の影響もほぼ収束し、全般的な不況が解消されてきている中、平成26年度をもって一旦終了することとし、今後の社会・経済情勢や国の動向を踏まえ、必要に応じて実施についての検討を行う。								
事業所管課		商工観光部／商工振興課							

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業				
細事業名	01 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金						決算書	P.254
総合計画	基本方針	I	交流経済都市	計画項目	⑥	京丹後ブランドの販売戦略		
決算額		①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
29,338千円			29,338千円		0千円		100.0 %	29,338千円
目的	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う地場産業の振興を図る各種事業を支援することで、本市における地場産業の総合的な振興を図る。							
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設管理、丹後ブランド商品の販売、地場商品の販路拡大、新商品の開発、人材育成、情報の収集、提供など地場産業の振興を図る各種事業の実施に対し、補助金を交付した。 ○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 29,338千円 【主な実施事業】 - 染色体験の実施（市民・観光客等321人が体験） - 地場商品の常設展示即売（192業者、約2,200品目、年間売上34,990千円） - Tango Good Goods認定事業及び販売促進事業の実施 平成26年度認定数：50業者 96商品 見本市の開催：「Tango Good Goods見本市」10/4・5宮津市民体育館 来場者数：2,734人、小売店等来場者数：19人、商談数：20件 - 各地域主催物産展、各種展示商談会・イベント等への出展 丹後のええもんうまいもん展（北千里12回、京都5回、名古屋3回、浜松1回） 東京インターナショナルギフトショーほか 出展事業者数：延べ242業者 - ICTを活用した丹後商品の集積・販売事業（農林水産品等） 販売金額 32,799千円（前年比2,962千円増） 登録生産者数 166人（前年比33人増） - カタログ・商品販売用WEBサイトによる丹後商品情報の発信 - 人材育成事業 地域産業人材育成事業受託による失業者雇用 延べ5人 講座開設（ECサイト運営等） 5講座 受講者延べ80人 - 創業相談窓口の開設（「創業支援事業計画」の国認定に基づく。7月～） - 施設管理及び運営							
主な財源								
評価・課題等	○物産展、展示商談会などに出席し、地場商品のPR及び販売促進を年間通して実施することで、地場産業の一層の振興を図ることができた。 ○人材育成事業を拡充実施する中、失業者の雇用促進、市内事業者の育成等を行うことができた。 ○ICTを活用した集積・販売事業では売上が伸びているものの、展示即売室での来客数・売上高は減少が続いており、対策を講じる必要がある。							
事業所管課		商工観光部／商工振興課						

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業	
細事業名	02 京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金			決算書	P.254
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,660千円		2,660千円	0千円	100.0 %	2,660千円
目的	他市町とも連携しつつ、「特産品ショップ ホット丹後」を起点とした都市部における丹後の情報・魅力の発信と特産品等の販売を強化する。				
主要な 事業及び 成果の 概要	丹後の情報・魅力発信拠点施設（アンテナショップ）である「特産品ショップ・ホット丹後」が行う、京丹後市のPR、ブランド品の紹介、販売促進、販路拡大等を図るための事業運営に対し、補助金を交付した。 ○京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金 2,660千円 【実施状況等】 ・ホット丹後会員数 2,112人（平成27年3月末現在） ・購入者数 年間 延べ22,912人（前年比1,277人増） ・販売実績額 年間 17,707千円（前年比1,097千円増） 購入者数・販売実績額とも平成24年度までの減少傾向から反転し、2年連続して増加。 ・常設店舗外での販売、PR事業（サテライト販売） KBS京都朝市、弥栄町人会 ・その他PR事業 10/12・19 会員対象「丹後ツアー」の実施（参加98人 参加費3,500円） アミティ丹後でのお買い物、染色体験、梨狩体験 豪商稲葉本家見学 などを実施 ・生産者による店頭販売 4業者 66回 売上2,520千円 《参考》他市町補助額 490千円（宮津市280千円、与謝野町210千円）				
主な財源	府補 未来づくり交付金（丹後地域特産品販路開拓事業）				650千円
評価・課題等	○ホット丹後会員を対象にした丹後ツアーの実施等、丹後の情報・魅力を発信する取組を行い、都市部での京丹後市と丹後産品の認知度やブランド力を向上させることができた。 ○平成25年度に運営部分を「ホット丹後出展者会」が選定する事業者に委託する方式としたが、同事業者の解散により平成26年度は再度（公財）丹後地域地場産業振興センターが直接運営。新たな委託先又は運営形態を模索する必要がある。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業	
細事業名	04 地域ブランド推進連携事業			決算書	P.254
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
592千円		615千円	23千円	96.2 %	991千円
目的	「全国地域ブランド連携協議会」へ参画し、プロモーションイベントや物産展への出展、情報発信等を行い、京丹後市ブランドの価値とイメージの向上を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	平成26年度は小牧市でブランドサミットが開催され、各自治体が地域ブランド等の情報発信を行った。また、6月と11月には東京駅前のTICTOKYOにて屋外イベントに出展し、地場産品等のPR販売を行った。 ○職員旅費 313千円 連携協議会地域ブランドサミット（愛知県小牧市：1回） 来場者数：約55,000人 連携協議会会議（東京：1回、名古屋：1回） TICTOKYO屋外イベント（東京：2回） ○有料道路通行料（ブランドサミット） 11千円 ○全国地域ブランド連携協議会会費及び事業負担金 224千円 ○TICTOKYO屋外イベント出展費用 44千円				
主な財源					
評価・課題等	○約55,000人の来場があったブランドサミットや多くのビジネスマンが行き交うTICTOKYOの屋外イベントでは、京丹後ブランドのPRを行い、「京丹後市」「かに」「ちりめん」といったイメージを多くの方に印象付けることができた。 ○この取組は、即時に効果が出るものではないため、連携協議会において実施内容等を工夫しつつ、継続して参画・実施していくことが必要である。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業	
細事業名	05 ブランドビジネス支援事業			決算書	P.254
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,128千円		2,154千円	26千円	98.7 %	3,251千円
目的	自治体運営型通販サイト「自治体特選ストア」を運営し、広く全国に対し京丹後産品の情報発信と販売を行い、市内事業者の新規販路確保と京丹後産品の販売促進を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	平成26年3月に開設した自治体運営型通販サイト「自治体特選ストア京丹後」を運営し、公募により集まった14事業者の商品20品を掲載して京丹後産品を販売するとともに、facebookを活用して商品・出品者や京丹後市の魅力に関する情報発信を行った。 ○職員旅費（会議等） 80千円 ○出展事業者：市内14事業者 出品商品：20商品 ○ブランドビジネスシステム運用業務委託料 1,944千円 委託先：F&Bホールディングス企業連合 ○ブランドビジネス発信情報収集業務委託料 104千円 委託先：公益財団法人丹後地域地場産業振興センター				
主な財源					
評価・課題等	○facebook等を通じて、広く全国へ京丹後ブランドの情報発信ができ、またネット販売へ新たにチャレンジする事業者への後押しを行うことができたが、サイトそのものの認知度不足もあり、売上は少額に留まった。 ○平成27年度以降は、（公財）丹後地域地場産業振興センターが運営するYahoo!ショッピングサイトに一本化し、より効率的かつ効果的な情報発信を行う中で、京丹後ブランドビジネスの確立につなげていく必要がある。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業		
細事業名	01 あんしん借換資金等利子補給事業				決算書	P.256
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
52,654千円		55,225千円		2,571千円	95.3 %	62,000千円
目的	市内商工業者等が借り入れた事業資金を返済する際に負担した利子の一部を補給することにより、資金調達を円滑化し、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進を図る。					
主要な 事業・ 事業 及び 成果 の 概要	市内商工業者等が「京都府中小企業融資制度」、「京丹後市商工業振興融資制度」、「政府系金融機関融資制度」に基づき事業資金を借入れその返済にあたり負担した利子について、借入利率の1.7%を超える部分（最大2.5%分で、1事業者当たり年度内100万円が限度）を補給し事業資金借入にかかる負担を軽減することにより、経営の安定化と成長の促進を図った。					
	○京丹後市商工業経営安定利子補給金 52,654千円					
	・交付決定事業者数 623事業者 ・交付決定融資件数 1,362件					
	【内訳】					
	制度区分		交付決定融資件数	交付決定金額		
	あんしん借換融資制度		702件	8,735千円		
	その他府融資制度		371件	38,488千円		
	京丹後市商工業振興融資制度		13件	129千円		
	政府系金融機関融資制度		276件	5,302千円		
主な 財源						
評価・ 課題等	○信用保証料補助制度とともに資金借入に伴う負担を軽減することにより、設備投資や運転資金の借入、また借換による有利な借入への移行や実質的な借入期間の延長が行いやすくなり、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。 ○地域の経済情勢等を見極めつつ、補給率等を見直すとともに、あわせて市内商工業者の投資への支援の在り方を検討していく必要がある。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業				
細事業名	02 信用保証料補助金				決算書	P.256		
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略			
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
43,566千円		43,566千円		0千円	100.0 %	45,000千円		
目的	市内中小企業者が事業運営に必要な運転資金や設備資金を借り入れた際に負担する信用保証料の一部を補助することで、事業資金調達の円滑化と負担軽減を図る。							
主要な 事業・ 事業及び 成果の 概要	厳しい経済情勢を勘案し、平成26年度中に実行された融資に係る保証料については、平成25年度に引き続き一部補助率を引き上げて補助金を交付することで、市内中小企業者の事業資金借入に係る負担軽減と経営安定化を図った。							
	○京丹後市信用保証料補助金				43,566千円			
	・交付決定件数：293件							
	業種		建設業	製造業	卸売・ 小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計
	H26	件数	81	50	85	43	34	293
		交付額	12,342	7,564	13,598	6,258	3,804	43,566
	(参考) H25	件数	66	55	101	38	41	301
		交付額	10,397	8,474	14,203	5,123	4,062	42,259
	・補助率（平成26年度は、平成25年度と同様に特例として一部補助率を引上げ）							
	借入額		基本補助率		H26特例補助率			
100万円以内		80%		補助率を維持 80%				
100万円超300万円以内		70%		補助率を維持 70%				
300万円超500万円以内		60%		65%				
500万円超700万円以内		50%		60%				
700万円超1,000万円以内		40%		55%				
1,000万円超2,000万円以内		30%		40%				
2,000万円超		30%		補助率を維持 30%				
主な財源								
評価・課題等	○厳しい景況が続く中、市内中小企業者の資金調達の円滑化及び経営上の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 ○地域の経済情勢等を見極めつつ、補助率の見直しを含め、効果的な支援の在り方を検討していく必要がある。							
事業所管課		商工観光部／商工振興課						

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業																										
細事業名	03 商工業支援事業				決算書	P.256																								
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興																									
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																								
19,019千円		19,909千円		890千円	95.5 %	14,535千円																								
目的	市民等が行う新たな取組等に対して支援を実施し、地域経済の活性化を図る。																													
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	○創業支援基礎研修講師派遣業務委託料					125千円																								
	産業競争力強化法に基づく「京丹後市創業支援事業計画」が国の認定を受けたことに伴い、平成26年7月1日から創業相談窓口を開設するにあたり、京丹後市と認定創業支援事業者（京丹後市商工会、（公財）京都産業21北部支援センター、（公財）丹後地域地場産業振興センター）の職員等を対象とした研修会を実施した。																													
	＜開催日・参加人数＞第1回：7月3日（木）16人、第2回：7月10日（木）17人																													
	○商工業支援補助金					9,491千円																								
	市民等が行う創業や空き店舗の活用、新商品開発や販路開拓等に関する取組を支援し、商工業の振興を図った。																													
	<table><tr><td>事業内容</td><td>件数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>新商品・新製品開発事業</td><td>3件</td><td>569千円</td></tr><tr><td>創業支援事業（創業時）</td><td>3件</td><td>2,263千円</td></tr><tr><td>空き店舗・空き工場等活用促進事業（開業時）</td><td>3件</td><td>2,642千円</td></tr><tr><td>家賃補助（創業支援、空き店舗等活用促進事業）</td><td>15件</td><td>2,040千円</td></tr><tr><td>国内外販路開拓促進事業</td><td>8件</td><td>1,821千円</td></tr><tr><td>知的財産権取得支援事業</td><td>1件</td><td>156千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>33件</td><td>9,491千円</td></tr></table>						事業内容	件数	補助金額	新商品・新製品開発事業	3件	569千円	創業支援事業（創業時）	3件	2,263千円	空き店舗・空き工場等活用促進事業（開業時）	3件	2,642千円	家賃補助（創業支援、空き店舗等活用促進事業）	15件	2,040千円	国内外販路開拓促進事業	8件	1,821千円	知的財産権取得支援事業	1件	156千円	合計	33件	9,491千円
事業内容	件数	補助金額																												
新商品・新製品開発事業	3件	569千円																												
創業支援事業（創業時）	3件	2,263千円																												
空き店舗・空き工場等活用促進事業（開業時）	3件	2,642千円																												
家賃補助（創業支援、空き店舗等活用促進事業）	15件	2,040千円																												
国内外販路開拓促進事業	8件	1,821千円																												
知的財産権取得支援事業	1件	156千円																												
合計	33件	9,491千円																												
	○プレミアム商品券発行事業補助金					431千円																								
	京都府が介護保険返戻対象者への返戻交付用に購入・活用する「プレミアム付商品券」を、京丹後市商工会が発行するにあたり、事業費の一部を支援した。																													
	・発行枚数 15,475枚（発行総額15,598千円、売上総額14,180千円）																													
	・補助金 プレミアム相当額1,295千円×1/3																													

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業	
細事業名	03 商工業支援事業				決算書 P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
19,019千円		19,909千円	890千円	95.5 %	14,535千円
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	○新技術開発補助金 7,500千円				
	平成26年6月5日付けで一般財団法人地域総合整備財団から採択を受けた新技術・地域資源開発補助事業を実施するため、市が同財団から補助金の交付を受け、市内企業に補助金を交付した。				
	交付決定件数 1件 (インキュベータ内設置型細胞培養システムの研究開発)				
	○商店街の安心環境整備事業補助金 1,472千円				
	安心・安全に配慮した身近で快適な商店街づくりや、地域住民の安心・安全な生活環境を守るための施設・設備等の環境整備を推進するため、全国商店街振興組合連合会が行う助成制度を利用して市内の商店街が行う商店街まちづくり事業(街路灯整備等)に関し、京都府と連携してその上乗せ支援を行った(補助率：全国商店街振興組合連合会(国)2/3、府1/9、市1/9)。				
	交付決定件数 6件				
	・街路灯LED化…間人商店連盟、弥栄商友会、はごろも商店会、峰山本町会 金刀比羅商店会				
	・アーケード改修…御旅市場アーケード管理組合				
主な 財源	府補 諸収入	未来づくり交付金(商工業支援補助金) 新技術・地域資源開発補助金			4,600千円 7,500千円
評価・ 課題等	○市内事業者及び市民が行う起業・空き店舗の活用・新商品の開発等に対して支援を行い、市内商工業の振興及び自立化の促進を図った。 ○市内においては一定の創業が行われているが、創業後の事業運営が円滑に行われるよう、セミナー開催などの相談・支援体制の充実が必要。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業	
細事業名	01 和装産地連携事業			決算書	P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
101千円		101千円	0千円	100.0 %	101千円
目的	全国和装産地市町村協議会に加盟し活動に参加するとともに、市内の織物関連団体で組織する森田翁顕彰会の活動を支援し、和装産業の振興・発展を図る。				
主要な 事業・ 事業 及び 成果 の 概要	和装産業の振興を推進するため、本市を含む全国の和装産地自治体で組織する全国和装産地市町村協議会に対し、負担金を支出した。加えて、本市、丹後織物工業組合、京丹后市商工会及び峰山町内の機業組合で組織する森田翁顕彰会に対し、負担金を支出した。 ○全国和装産地市町村協議会負担金 30千円 【会員数】 13市2町 〔山形県米沢市、茨城県結城市、茨城県常総市、群馬県桐生市、群馬県伊勢崎市、新潟県小千谷市、新潟県十日町市、新潟県五泉市、石川県金沢市、京都府京都市、京都府京丹后市、京都府与謝野町、鹿児島県鹿児島市、鹿児島県奄美市、鹿児島県龍郷町〕 【主な事業】 ・総会の開催 平成26年8月14日、京都職員会館かもがわ(京都市中京区) ・国への要望活動 シルクのまちづくり市区町村協議会と連名で経済産業省と文部科学省へ要望 ・「きものサミットin東京」への参加と全体会議の開催 平成26年11月10日、日本橋三井ホール他 ○森田翁顕彰会負担金 50千円 【主な事業】 ・ちりめん始祖森田翁慰霊祭の開催(平成26年11月5日) ・墓所の清掃及び供養 ○職員旅費 21千円				
主な財源					
評価・課題等	○全国和装産地市町村協議会のさまざまな事業を通して本市のPRが図られたほか、全国の和装産地との課題や取組等の情報共有により、本市の施策検討に役立てることができた。和装業界がますます厳しさを増す中、今後も後継者不足等各産地共通の課題について、全国の和装産地が連携し、一体となって取り組む必要がある。 ○森田翁顕彰会の活動により、森田翁の偉業や丹後ちりめんの歴史文化を後世に継承することができた。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業	
細事業名	02 ちりめん関連事業補助金			決算書	P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,237千円		2,550千円	313千円	87.7 %	2,852千円
目的	市内のきもの関連業者で組織する京丹後市きもの交流会の活動及び本市の和装関連イベントである「京丹後ちりめん祭」の開催を支援し、和装産業等の振興・発展を図る。				
主要な 事業 及び 成果 の 概要	きもの関連業に携わる会員の事業経営や商品開発等に係る能力の向上、丹後ちりめんを中心とする織物業及び関連産業の振興に寄与することを目的に活動する京丹後市きもの交流会に対し、積極的な事業の推進を支援するため、補助金を交付した。 また、織物関連産業の振興及び活力ある地域づくりを推進するため、市や織物関連団体等で組織する京丹後ちりめん祭実行委員会に対し、補助金を交付した。 ○京丹後市きもの交流会補助金 525千円 【会員数】 17事業所（平成27年3月31日現在） 【事業概要】 ・京丹後ちりめん祭、丹後あじわいの郷「月例祭」、「丹後たからもの展」への参加協力 ・市内全7中学校の卒業生を対象とした、ちりめん製卒業証書の製作 ・会員の事業活動に必要な知識習得を目的とした研修の実施 ・市民の和装着用促進を目的としたきもの着付け教室の開催 ・「山陰海岸ジオパークビジネスフォーラムin京丹後」への参加 ・総事業費 1,169千円 ○京丹後ちりめん祭補助金 1,589千円 会場設営、各種催事の開催及びステージ出演者への謝礼等に係る経費補助 【第64回京丹後ちりめん祭の概要】 ・開催日・場所：4月12日、13日 アミティ丹後周辺 ・総事業費：2,267千円 ・主な内容：きものファッションショー、織物の展示、呉服販売、着物レンタル着付け、お茶席、スタンプラリー抽選会 ○公用車修繕料等（京丹後ちりめん祭における車両破損の修理）123千円				
主な財源	諸収入 市有自動車損害共済金				63千円
評価・課題等	○京丹後市きもの交流会の事業活動及び京丹後ちりめん祭の開催等を通して、丹後ちりめんや着物のPRが図られ、丹後ちりめんを中心とする織物業及び関連産業の振興に寄与した。ただし、きもの交流会については会員数が年々減少傾向にあるので、会員募集も継続的に行う必要がある。 ○京丹後ちりめん祭については、市商工会「京丹後きもの祭」との共催としたことによって、例年に増して多くの着物での参加者が得られ、着物の良さのPRができた。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業		
細事業名	03 丹後ファッションウィーク開催委員会補助金				決算書	P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,122千円		4,000千円		878千円	78.0 %	4,000千円
目的	丹後2市2町の自治体や織物関連団体で組織する丹後ファッションウィーク開催委員会の活動を支援し、織物業及び関連産業の振興・発展を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	日本最大の絹織物産地「丹後」の競争力の強化及び織物関連産業の振興・発展を図るため、「丹後織物」の魅力発信、織物事業者の国内外の販路開拓及び産官学の連携事業を実施する「丹後ファッションウィーク開催委員会」に対し、補助金を交付した。					
	○丹後ファッションウィーク開催委員会補助金 3,122千円					
	【販路開拓事業】					
	首都圏で丹後産地単独の丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」を開催。 ・10月30日～10月31日、ヒルサイドテラスアネックスA棟（東京都渋谷区） ・商談件数121件（内新規88件）、成約件数19件 [平成26年12月調査]					
	【産官学連携事業】 関西圏のファッション関連校4校と連携し、丹後織物を使った学生の作品制作及び連携校主催の制作発表会等を通じて、丹後織物のPRを行った。					
主な財源	【丹後織物製品開発・販売促進事業】					
	女子美術大学と連携し、丹後織物のデザイン及びその生地を使った雑貨類の作品制作を行った。今年度はアート風呂敷を作成し、海外の大学等でPRを行うとともに、展示会で試験販売も行った。また4年間の取組をまとめた冊子を作成した。					
	【専門家招へい事業／2020年に向けた新規事業検討事業】					
	絹織物産地のプロデューサーとして活躍されている岡田茂樹氏を丹後に招聘し、講演会の開催や、事業所訪問等の交流を通じて、2020年の東京オリンピック開催・丹後ちりめん創業300周年にむけた今後の製品づくりへのアドバイスをいただいた。					
	(総事業費7,135千円のうち、 与謝野町負担1,171千円、丹後織物工業組合負担2,812千円、雑収入30千円)					
主な財源	府補	未来づくり交付金（織物業活性化推進事業）				1,000千円
評価・課題等	○丹後ファッションウィーク開催委員会のさまざまな事業活動を通じて、丹後織物や産地のPR及び織物事業者の国内外の販路開拓が図られ、織物業及び関連産業の振興・発展に寄与した。 ○2020年に向けた新規事業の検討を開始することで、将来的な産地ビジョンづくりに着手できた。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業	
細事業名	05 シルクのまちづくり事業			決算書	P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
967千円		1,097千円	130千円	88.1 %	2,317千円
目的	絹のふるさと京丹後推進会議を設立し、プラン策定にむけて検討を行う。また、「シルクのまちづくり市区町村協議会」の活動に参加し、シルク産業の振興・発展を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	絹のふるさと京丹後推進会議を設立し、「絹のふるさと京丹後推進プラン」策定にむけて検討を行った。また、「シルクのまちづくり市区町村協議会」に参加し、シルク産業の振興とシルク文化を活用した魅力ある地域づくりを目的に活動を行った。 ○絹のふるさと京丹後推進会議の運営 174千円 【構成】 織物・繊維、養蚕業に携わる団体や関係者12名 府関係機関からオブザーバー3名 会議開催 2回 ○シルクのまちづくり市区町村協議会 224千円 総会（群馬県富岡市） 幹事会 2回（東京都内） 【協議会の概要】 ・自治体会員数 26市区町（平成27年3月31日現在） ・顧問 11人（ファッションジャーナリスト、テキスタイルデザイナー等） ・協賛団体 25団体（蚕糸団体、産地織物組合、絹業関連団体ほか） OGS世代研究会 ダンディファッションショーへの出演に係る経費 268千円 平成26年11月14日、京王プラザホテル（東京都新宿区） 丹後ちりめんの着物を着用し、丹後の風景と伝統産業である丹後ちりめんをPRした。 ○その他（上記以外の旅費、有料道路通行料等） 301千円				
主な財源					
評価・課題等	○絹のふるさと京丹後推進会議を立ち上げ、絹を切り口にしたまちづくりプランの策定に着手することができた。 ○世界遺産に登録された富岡製糸場と絹産業遺産群を視察することにより、会員同士で情報共有を図るとともに、本市の施策検討に役立てることができた。				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業	
細事業名	06 織物合理化設備導入支援事業補助金			決算書	P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,998千円		7,998千円	0千円	100.0 %	4,000千円
目的	織機用ダイレクトジャカードコントローラ装置等を導入する市内織物事業者に対し補助金を交付し、織物事業者の経営の合理化及び安定化を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	○織物合理化設備導入支援事業補助金 7,998千円 交付件数 28件（平成24年度：26件、平成25年度19件） 交付台数 104台（平成24年度：66台、平成25年度65台） ・補助対象経費 織機用ダイレクトジャカードコントローラ装置等の購入、設置経費及び旧装置の撤去処分経費 ・補助金額 補助対象経費の1/3以内の額（補助限度額：1台につき10万円） ・補助期間 平成24年7月1日～平成27年3月31日までの3年間				
主な財源	府補 未来づくり交付金（織物合理化設備導入支援事業補助金） 3,900千円				
評価・課題等	○補助金を交付することで、織物事業者の経営の合理化及び安定化が図られた。 ○平成26年度をもって本制度は終了するが、絹織物産地の維持・活性化を図るため、織機の新設・改修等に対する新たな補助制度を創設する必要がある。				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	06機械金属業振興事業		
細事業名	01 機械金属業振興事業				決算書	P.258
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
84千円		100千円		16千円	84.0 %	3,268千円
目的	市内の機械金属業が行う新たな展開に向けた基盤構築や技術力向上、市場との接点活動を支援し、機械金属業の事業分野の拡大と経営基盤強化を推進する。					
主要な 事務・事業 及び成果 の概要	丹後機械工業協同組合の行うマッチングコーディネーターを活用した新分野企業等とのビジネスマッチング事業におけるマッチング会議へ出席し、支援活動を行った。					
	○旅費		52千円			
	○有料道路等使用料		32千円			
	※ 丹後機械工業協同組合が行う事業（販路開拓・ビジネスマッチング）については、地域雇用環境整備特別対策事業「地域人づくり事業（処遇改善プロセス）」にて、例年より拡充して実施。					
	○機械金属未来開拓挑戦支援業務（委託） ・展示会出展事業 国内4箇所 京都（17社）、大阪（11社）、名古屋（6社）、 尼崎（組合） ・ビジネスマッチング事業 参加20社／マッチング成立10件／取引関係成立1件 ・丹後ものづくり企業ナビ再構築事業 14社が企業紹介動画を更新					
主な財源						
評価・課題等	新たな顧客の開拓や成長産業分野への進出なくして丹後機械金属業の振興及び発展は考えられないことから、引き続きその活動を支援することにより、事業者の主体的なビジネス開拓や、新分野企業とのビジネスマッチング活動を促進していく必要がある。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	09人材育成事業		
細事業名	01 人材育成事業				決算書	P.258
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
9,771千円		9,938千円		167千円	98.3 %	10,619千円
目的	「丹後・知恵のものづくりパーク」における事業の円滑な実施と適切な施設運営を促し、市内企業の一層の成長と次世代のものづくり産業の総合的な振興を図る。					
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	公益財団法人京都産業21（北部支援センター）が、「丹後・知恵のものづくりパーク」で行う人材育成研修及び施設管理運営に係る費用の一部を負担することにより、同パークの適正な施設管理運営を推進するとともに、事業活動を行う上で必要となる知識、技術等を地元企業の従業員等に習得させるための研修事業を実施した。 また、市として繊維及び機械金属分野における新分野挑戦に向けた企業セミナーを開講したほか、ポータルサイトを運営し人材育成に関する情報の一元化及び発信強化に努めた。					
	○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営・人材育成事業					9,223千円
	・管理運営負担金					8,227千円
	・人材育成研修事業負担金					996千円
	創業をめざす方のためのセミナー					3回開催 受講者数：6人
	女性リーダー育成セミナー					4回開催 受講者数：延べ44人
	生産管理研修					2回開催 受講者数：延べ21人
	○挑戦型企業セミナー開講事業					483千円
	企業の新たな分野進出への挑戦を促すため、繊維及び機械金属分野におけるセミナーを計3回、京都工芸繊維大学へ委託して開講（受講者数延べ105人）					
	・第1講：蚕糸・絹業関連					
・第2講：機械・金属・電子関連						
・第3講：繊維関連・シルクの応用						
○京丹後市産業人材育成ポータルサイト管理運営業務					65千円	
職業訓練法人丹後地域職業訓練協会へ管理運営業務を委託 情報更新（講座情報掲載）回数 77回、アクセスされたページ数 3,278						
主な財源						
評価・課題等	○「丹後・知恵のものづくりパーク」における適切な施設運営と、ものづくり人材育成や地域中小企業への経営・技術の総合支援等の各種事業の円滑な実施を促進し、市内企業の競争力強化に資することができた。 ○挑戦型企業セミナーの開講により、地元企業に対し業界の新たな動向や大学の持つ技術シーズ等の紹介を行い、今後の事業展開の参考としていただくことができた。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コーディネート事業	
細事業名	02 産学連携推進事業			決算書	P.258
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
39千円		176千円	137千円	22.1 %	172千円
目的	大学と市民や市内事業者を結びつけるコーディネートを行うとともに、京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス）の維持管理等を行い、市内産業の振興を図る。				
主要な 事業 及び 成果 の 概 要	「連携・協力に関する包括協定」を締結している国立大学法人京都工芸繊維大学の協力のもと、「KITわくわくキャンパスフェスタ」を開催し、「事業経営・技術相談会」や小中学生を対象とした「大学出張講義」等を行った。また、夏休み期間中には「夏休みこども勉強会」を開催するなど、市民や市内事業者の方々に大学との接点を持っていたり、身近に感じていただけるよう努めた。 【主な事業】 ○夏休みこども勉強会 - 日時：平成26年8月17日～18日 - 開催場所：京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス） 丹後園 ふれあいホーム桃山 ○KITわくわくキャンパスフェスタ（市共催事業） - 日時：平成26年11月7日～9日 - 開催場所：京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス） - 内容：事業経営・技術相談会、大学出張講義 出張美術工芸資料館、起業アイデアコンペ入賞アイデア展示会 【経費内訳】 ○出張旅費 33千円 ○有料道路通行料 6千円 ※京都工芸繊維大学地域連携センター（京丹後キャンパス）の利用状況 利用回数：53回 利用人数1,420人				
主な財源					
評価・課題等	○京都工芸繊維大学地域連携センターを拠点とした産学連携事業を通じ、大学の持つ技術・知識・人材を市内事業者等へ発信し、市内産業の振興に寄与することができた。 ○市内の事業者等に対し、京都工芸繊維大学地域連携センターの機能や役割、またそこで開催されるさまざまな産学公連携イベント等のさらなる周知を図り、大学の持つ技術・知識及び人材の積極的な活用を促進する必要がある。				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コーディネート事業	
細事業名	03 産学連携研究等促進事業			決算書	P.258
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,330千円		1,330千円	0千円	100.0 %	2,000千円
目的	大学等と共同研究等に取り組む市内中小企業者等に対し補助金を交付することで、大学等研究機関の連携を促進し、市内産業の高度化や新産業の創出等を実現する。				
主要な 事業 及び 成果 の 概 要	市内中小企業者が大学等研究機関と共同研究を行うにあたり、研究機関に支払った研究経費に対し補助金を交付することにより、新商品の開発や新技術の導入等による製品・サービスの高付加価値化を図ることに寄与することができた。 ○産学連携研究等促進事業費補助金 1,330千円 交付件数：2件 補助金額：1,330千円 補助率：1/2以内（上限額1,000千円） 研究テーマ ①「食べるシルクペプチドの新製造法の開発」※H25年度からの継続研究 ②「野蚕絹フィブロインの安定的な低分子化収率向上の研究開発」				
主な財源					
評価・課題等	○大学の持つ高度な学術資源（シーズ）を活用することにより、市内事業者の技術課題の解決に寄与した。 ○産業の高度化や新産業の創造等を実現し、雇用の維持と創出を図っていくため、当制度の活用を一層促進していく必要がある。				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業		
細事業名	04 商工業振興プロジェクト推進事業				決算書	P.260
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額 0千円
5,400千円		5,400千円		0千円	100.0 %	
目的	明治期の関西経済の立役者である松本重太郎翁の偉大な功績、起業精神、経営哲学等を顕彰するテレビ番組の制作に協力し、重太郎翁や本市の魅力を広く発信する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○松本重太郎翁テレビ番組制作協力金 5,400千円 ・タイトル 「関西偉人伝説 ～新しいニッポンを作った謎の男～」 ・放送日時 平成26年12月30日（火） 午前6時～6時50分 ・放送エリア 京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、三重県の一部 ・制作、協力 MBS毎日放送・京丹後市					
主な財源	府補 未来づくり交付金（商工業振興プロジェクト推進事業）					2,700千円
評価・課題等	○松本重太郎翁や本市の魅力をテレビ番組の放映を通じて広く発信することができた。 ○今後も重太郎翁の偉大な功績を継承するとともに、番組制作をきっかけに関西圏と本市との経済・企業交流や観光誘客の推進等につなげていく必要がある。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビジネス初創出事業
細事業名	01 地域資源活用ビジネス初創出事業			決算書 P.260
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
491千円		1,006千円	515千円	48.8 % 1,246千円
目的	慶應義塾大学と市内地域等との連携により、コミュニティビジネスの検討や活動を実施することにより地域活性化を図り、あわせて首都圏へ本市の魅力発信を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	昨年度策定した最終報告書「地域づくり計画」に基づき、引き続き峰山南地区にて「域学連携」の活動を慶應義塾大学へ委託し、地域住民とのマップ作りなど地域活性化に向けた取り組みを行い、活動の基盤となる組織を設立することができた。 ○コミュニティビジネスの検討及び実践活動経費 491千円 ・旅費（大学との打ち合わせ） 76千円 ・委託料（大学への地域活性化支援業務委託） 415千円 （活動内容） ・平成26年度活動計画の調整（H26.6.9、市職員と学生によるテレビ会議） 平成26年度の活動計画検討とスケジュール調整会議を開催 ・峰山魅力マップ作りイベントの打ち合わせ（H26.7.19～20、学生5人） 12月に実施するマップ作りイベントの事前協議と準備を実施 ・峰山魅力マップ作りイベント実施（H26.12.20～21、参加者11人） 住民とのフィールドワークやグループワークを通じてマップ作成 ・活動拠点の視察と峰山高校との意見交換 平成27年度活動に関する協議を実施 高校生との連携を図るため、峰山高校との意見交換を実施			
主な財源				
評価・課題等	○今後、継続して地域活性化を図る組織の設立ができた。 ○今後は活動拠点施設の整備なども行い、慶應義塾大学から全国で行われている事例なども紹介頂きながら、地域課題の解決に向けて取り組む。			
事業所管課		商工観光部／商工振興課		

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビジネス創出事業												
細事業名	03 地域経済循環創造事業			決算書 P.260												
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興												
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額												
58,000千円		93,000千円	35,000千円	62.3 % 0千円												
目的	市内の事業者が行う地域活性化に資する取組等に対して支援を実施し、地域経済の循環及び活性化を図る。															
主要な 事業・ 事業 及び 成果 の 概要	○地域経済循環創造事業補助金 58,000千円 市内の事業者が地域金融機関や大学機関などと連携して実施する取組で、「あと一歩」で実現できるような地域活性化に資する事業を支援し、地域経済の循環及び活性化を図った。															
	<table><tr><td>事業内容</td><td>事業費</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>加工食品製造を通じた京丹後の地元農産・地元水産・地元畜産のブランド化推進事業</td><td>66,851千円</td><td>27,000千円</td></tr><tr><td>織物の職人育成及び市場性の高い織物製品の開発による丹後織物の伝統継承事業</td><td>43,493千円</td><td>20,000千円</td></tr><tr><td>京丹後市の生乳を利用した安全・安心・高品質なヨーグルトの本格製造・販売事業</td><td>28,394千円</td><td>11,000千円</td></tr></table>				事業内容	事業費	補助金額	加工食品製造を通じた京丹後の地元農産・地元水産・地元畜産のブランド化推進事業	66,851千円	27,000千円	織物の職人育成及び市場性の高い織物製品の開発による丹後織物の伝統継承事業	43,493千円	20,000千円	京丹後市の生乳を利用した安全・安心・高品質なヨーグルトの本格製造・販売事業	28,394千円	11,000千円
	事業内容	事業費	補助金額													
	加工食品製造を通じた京丹後の地元農産・地元水産・地元畜産のブランド化推進事業	66,851千円	27,000千円													
	織物の職人育成及び市場性の高い織物製品の開発による丹後織物の伝統継承事業	43,493千円	20,000千円													
	京丹後市の生乳を利用した安全・安心・高品質なヨーグルトの本格製造・販売事業	28,394千円	11,000千円													
	■平成27年度への繰越事業 35,000千円															
	<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>58,000千円</td></tr><tr><td>実質的な執行率</td><td>100.0 %</td></tr></table>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	58,000千円	実質的な執行率	100.0 %							
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	58,000千円													
		実質的な執行率	100.0 %													
・地域経済循環創造事業補助金 平成27年10月完了予定 35,000千円																
主な財源	国補 地域経済循環創造事業交付金（10/10）			58,000千円												
評価・課題等	○市内の事業者が地域金融機関や大学機関などと連携して実施する地域経済の循環を図る取組について、その初期投資に対して支援し、市内商工業の振興及び地域経済の活性化を図った。 ○事業終了後においても関係機関と連携し、取組が円滑に進められるような相談体制等フォローアップが必要となる。															
事業所管課		商工観光部／商工振興課														

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業
細事業名	03 経済人材ネットワーク構築・強化事業			決算書 P.260
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
5,870千円		5,933千円	63千円	98.9 % 6,518千円
目的	松本重太郎翁の偉大な功績を都市部で発信し、京丹後市のPR及びイメージ向上につなげるとともに、関西圏を中心とした経済人材のネットワーク構築・強化を図る。			
主要な 事業及び 成果の概要	○松本重太郎翁顕彰プロジェクト・関西経済交流シンポジウム開催事業 5,870千円 ・シンポジウム運営委託料（毎日新聞社との協定による市負担分） 5,374千円 （ホテル会場費、案内チラシ作成費、ステッカー・パンフレット作成費、展示パネル作成費、招待者交通費、毎日新聞採録費（2月24日朝刊掲載）、司会費、基調講演講師謝金、事務費） ・市内参加者送迎バス運行経費（市1台、民間1台） 246千円 （民間バス借上料、市バス運転委託料、ガソリン代、有料道路通行料、駐車場使用料） ・職員派遣経費等（関係企業等訪問、事前打ち合わせ、当日運営） 250千円 （職員旅費、公用車ガソリン代、有料道路通行料、駐車場使用料等）			
	＜開催概要＞ 日時：平成27年1月26日（月）15時30分～19時30分 会場：ホテルグランヴィア大阪（大阪市北区梅田） 内容：基調講演「松本重太郎翁一果敢なる企業家活動の軌跡と遺したものー」 講師：大阪大学名誉教授 宮本又郎氏 トークセッション「北近畿の新たな可能性と関西経済の発展」 コーディネーター：小笠原毎日新聞社編集局次長、 パネリスト：宮本大阪大学名誉教授、山南海電気鉄道㈱取締役会長兼CEO、佐藤大阪商工会議所会頭、萩尾大阪国際フォーラム会長、京丹後市長 経済交流レセプション（名刺交換、京丹後の「食の魅力」発信） 松本重太郎翁特別展			
主な財源	府補 未来づくり交付金（経済人材ネットワーク構築・強化事業）			2,800千円
評価・課題等	○松本重太郎翁の没後100年、生誕170年の節目に翁ゆかりの企業をはじめ、広く近畿一円の企業関係者、行政機関、地元関係者など320人が集まり、翁の顕彰と北近畿の新たな可能性・関西経済の発展について考える良い機会となった。また、経済交流レセプションでは参加者がそれぞれの立場で交流を深め、京丹後市のPRもすることができた。 ○松本重太郎翁の偉大な功績を継承するとともに、これまでの取組を一過性のものとせず継続した取組を行い、本市の経済交流や観光誘客の促進等に繋げていく必要がある。			
事業所管課		商工観光部／商工振興課		

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05織物業振興事業		
細事業名	07 新シルク産業創造事業				決算書	P.256
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
63千円		51,871千円		51,808千円	0.1 %	0千円
目的	国の地域再生計画に基づき、新シルク産業創造に向けた取組を行うことにより、地域産業の基盤強化や成長を促し雇用の創出・拡大を目指す。					
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	○新シルク産業創造研究会設置・運営経費 41千円 内閣府の地域活性化モデルケースの採択を受け、蚕種業、養蚕業、製糸業、絹織物業、絹製品製造加工業など、現在の蚕糸・絹業の振興を図るとともに、絹の素材・機能を活用したヘルスケア産業、医療・医薬産業、産業素材産業など新たな絹産業の創業や事業創出を目指し、「新シルク産業創造研究会」を平成26年12月に創設した。 京丹後市だけでなく丹後地域、さらには京都府内の蚕糸・絹業関連産業の事業者、関係者及び新たなシルク産業の創出に関心のある方を広く募集し、2回の研究会を開催した。（第1回：平成26年12月17日、第2回：平成27年3月18日） 産・学・官それぞれの立場からコーディネーターを委嘱（3人）し、シルクの機能や業界事情などの現状等情報提供を行うとともに、研究会を円滑に進行する役割を担っていただいた。					
	・コーディネーター謝金（4千円×1人×2回） 8千円 ・コーディネーター費用弁償（2人×2回） 33千円					
	○旧溝谷小学校改修関連経費 22千円 「（仮称）新シルク研究開発・利用促進施設」の整備改修基本構想の具体化に向けた現地打合せを行った。 （構想担当者費用弁償：京都工芸繊維大学教授1人×1回）					
	■平成27年度への繰越事業 51,782千円					
	参考				繰越明許費を除いた最終予算額	89千円
				実質的な執行率	70.7 %	
	・改修実施設計、大学連携、普及啓発等 平成28年3月完了予定					51,782千円
主な財源						
評価・課題等	○研究会では延べ70人程度の参加があった。会員数は平成27年3月末時点で法人会員15社（25人）、個人会員7人となっている。参加者自らがシルクに関する多様な知識を学び課題を解決していくために有用な情報を積極的に提供するとともに、今後、参加者による事業化に向けた具体的な活動に向けて出来る限りの支援をしていく必要がある。 ○「（仮称）新シルク研究開発・利用促進施設」改修基本計画を基に、引き続き本格的な実施設計及び施設改修工事を進めることとする。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	07産学連携推進コーディネート事業	
細事業名	01 起業アイデアコンパ開催事業			決算書	P.258
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
904千円		933千円	29千円	96.8 %	933千円
目的	地域資源を活用した大学生発案の起業アイデアをもとに、京丹後市発の新たなビジネスを創造し、商工業の活性化を図る。				
主要な 事業 及び 成果 の 概要	「連携・協力に関する包括協定」を締結している京都工芸繊維大学のほか、京都府立大学、京都府立医科大学、京都ノートルダム女子大学、京都産業大学の学生を対象に、京丹後市の地域資源（自然、文化、歴史、生産物等）を理解してもらうため、9月にオリエンテーション（1泊2日）を実施。その後、その地域資源を活用した斬新な起業（事業）アイデアを大学側で募集、一次審査を通過した8件によるコンペティションを京丹後キャンパスで行った。 ○経費 ・コンペ入賞賞金 330千円 - 優秀賞150千円×1、優良賞50千円×2、佳作30千円×2、入選10千円×2 ※民間団体（錦織米市翁顕彰会）より、別途最優秀賞200千円の協賛あり ・参加賞（図書券10千円分×8件） 80千円 ・バス燃料代 27千円 ・旅費 3千円 ・委託料（コンペ企画運営委託料、バス運転委託料） 444千円 ・有料道路通行料 20千円 ○平成26年度起業アイデアコンペティション結果 最優秀賞 “旬を感じる！地酒を使った京丹後ケーキ” 優秀賞 “京丹後HALALFOODプロジェクト” ～ハラル食の展開で京丹後市にイスラムの人々を呼び寄せよう～				
主な財源					
評価・課題等	○平成26年度は、これまでの46件のアイデアを展示用にパネル化し、アミティ丹後展示室等で展示した。今後、市内イベント等でアイデアを展示し市内事業者へ発信していく必要がある。 ○今後より多くのアイデアが事業化されていくよう、アイデアのさらなる周知を図るとともに、事業化可能性の高いアイデアが提案されるための工夫を行っていく必要がある。				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業		
細事業名	01 企業立地促進事業				決算書	P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,651千円		2,806千円		155千円	94.4 %	5,004千円
目的	市内における企業・工場の新増設や誘致など企業・事業立地を促進し、企業成長に伴う雇用機会の拡大等、市民生活の充実・発展と産業横断的な地域経済の活性化を図る。					
主要な 事務・事業及び 成果の概要	【企業訪問等立地推進活動】 695千円 職員等による企業・関連団体訪問、展示商談会出展等 延べ50か所					
	【企業立地ガイド等の作成】 217千円 企業立地ガイド（京丹後市PR冊子）増刷 1,000部 企業誘致リーフレット（森本工業団地PR冊子）印刷 3,000部					
	【企業立地推進業務の実施】 委託先：（株）帝国データバンク 998千円 ① 市内企業（10社）への、聞き取り調査（実態把握）の実施 ② ①の調査結果に基づきアンケート票を作成し、関西圏域を中心とした企業への調査を実施。 ※調査件数800件うち回収件数112件、回収率14%					
	【企業誘致関連展示商談会への出展】 661千円 ・「関西・機械要素技術展」平成26年9月24～26日（インテックス大阪） ・「あまがさき産業フェア」平成26年10月16～17日（尼崎市中小企業センター）					
	【京都府市町村企業誘致推進連絡会議負担金】 80千円 「京都府工場・研究所用地案内」、「会員市町紹介リーフレット」作成等					
主な財源						
評価・課題等	○森本工業団地の4区画は未売却のまま推移。企業誘致に向け、京都府とも連携しつつ企業訪問活動を実施したが、誘致には至っていない。 ○引き続き企業立地活動を拡充実施するとともに、用地リース制度の導入等により、森本工業団地への早期立地を実現する必要がある。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業		
細事業名	03 工業団地維持管理事業				決算書	P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,281千円		1,355千円		74千円	94.5 %	1,290千円
目的	市内5か所の工業団地における維持管理を行う。					
主要な 事業及び 成果の 概要	○光熱水費 47千円 ・ 赤坂工業団地 入口看板照明					
	○修繕料 124千円 ・ 谷工業団地内排水路浸透柵蓋取替修繕					
	○市有地測量登記委託料 445千円 ・ 谷工業団地法面市有地境界確定測量業務					
	○工業団地環境美化業務委託料 662千円 ・ 大山工業団地 側溝清掃、排水路清掃業務 141千円 ・ 永留工業団地 枯松伐採・集積業務 195千円 ・ 赤坂工業団地 調整池清掃、伐採・集積業務 326千円					
	○土地借上料 3千円 ・ 大山工業団地 下水道管敷設地					
主な財源	諸収入 市有地測量登記負担金					222千円
評価・課題等	工業団地の適切な維持管理を行い、引き続き立地企業の円滑な操業に資する。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業	
細事業名	02 企業立地支援事業			決算書	P.256
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
9,050千円		9,050千円	0千円	100.0 %	16,097千円
目的	市内における工場の新設及び増設を奨励することにより、雇用の拡大とものづくり産業の集積を促進し、もって本市産業の振興を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	新制度（京丹後市企業立地支援事業実施要綱）に基づき、事業所の新增設を行い、かつ正規雇用者を2人以上増加させた「指定事業所」（中小企業）に対して、企業立地助成金を交付した。 また、旧制度（京丹後市工場立地促進条例）に基づき、「指定工場」に対して、工場新增設奨励金（固定資産税納付相当額）及び雇用促進奨励金（新規地元常用雇用者1人につき40万円）を交付した。（旧制度の経過措置は、平成30年度まで。） ○新制度分 - 企業立地助成金 1件 2,000千円 ○旧制度分 - 工場新增設奨励金 4件 3,450千円 - 雇用促進奨励金 1件 3,600千円 ※指定済（H26交付対象）事業所数 7件				
主な財源	府補 未来づくり交付金（工場立地奨励金）				3,100千円
評価・課題等	○助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに雇用の拡大・安定化に寄与することができた。 ○引き続き制度のPRを行う中で、森本工業団地をはじめ市内への企業立地を促進していく必要がある。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	11地域資源活用ビジネス創出事業	
細事業名	02 京丹後型ワークスタイル創出事業			決算書	P.260
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
389千円		390千円	1千円	99.7 %	390千円
目的	本市の特色を活かした新たなワークスタイルとして、豊かな自然環境と充足した通信インフラ環境等を活用した「テレワーク」を推進し、新たな事業活動の展開を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	新経済戦略に基づき「テレワーク」を推進していくため、株式会社エヌ・ティ・ティ・ビー・シー コミュニケーションズと協定を締結し、テレワークに関する企業ニーズ調査及び市内事業者、創業希望者等を対象としたテレワークに関するセミナーを開催した。 テレワーク関連施策等の共同研究業務 389千円 ・テレワークに関する企業ニーズ調査 5社 ・テレワークの普及・PRに関するセミナー 日時：平成27年2月23日（月）午後2時～3時30分 会場：ら・ぽーと 内容：講演「地域と企業を強くするテレワーク」 講師 ㈱NTTPCコミュニケーションズ 福山 宏 氏 参加者数：26人 ・テレワークの環境整備に関する事業化提案				
主な財源					
評価・課題等	○企業ニーズ調査により、ヒアリングを行った5社全てがテレワークを検討していないことがわかったが、企業が人材を出しても良いという魅力づくりが必要である。 ○今後、進出企業が開発した製品のフィールド実証への支援、オフィス整備、住環境の整備、都市部企業への情報発信等を行う必要がある。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

事業名称		再編交付金活用事業	
個別事業名		決算額	
11 高機能急速冷凍装置導入事業		1,687千円	
決算額の内訳	9 旅費	普通旅費	198千円
	13 委託料	高機能急速冷凍装置導入可能性調査研究委託料	1,482千円
	14 使用料及び賃借料	有料道路通行料	7千円
主要な事務・事業及び成果の概要	本市域の産業振興と地域の活性化を加速させるため、農産物、水産物及び加工食品等、地場産品のさらなる高付加価値化と販路拡大への新たな取り組みの一つとして、「高機能急速冷凍装置」の事業利用の可能性を検討するために必要な調査研究を実施した。 ○高機能急速冷凍装置メーカー視察 205千円 3箇所／神奈川県横浜市、千葉県流山市、兵庫県神戸市 ○高機能急速冷凍装置導入可能性調査研究委託料 1,482千円 高機能急速冷凍装置の導入及び事業可能性を検討するための調査を実施した。 (委託先) 京丹後市商工会 (内 容) ・製品調査（主要メーカー4社の性能比較） ・事例調査（先進自治体導入事例） ・利用ニーズ調査（市内事業所96社） ・事業化調査（活用方法、事業化スキーム等）		
事業所管課		商工観光部／商工振興課	

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	04地域雇用環境整備特別対策事業				
細事業名	01 地域雇用環境整備特別対策事業			決算書 P.218				
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	① 定住の促進				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額				
66,067千円		72,158千円	6,091千円	91.5 % 84,134千円				
目的	現下の雇用労働情勢において雇用のミスマッチ解消や域内人材の潜在力発揮が求められる中、京都府緊急雇用対策事業により失業者や在職者の生活の安定と向上を図る。							
主要な事務・事業及び成果の概要	○緊急雇用創出事業委託料（起業支援型地域雇用創造事業） 30,014千円 起業後10年以内の市内企業やNPO等を委託先として地域に根ざした雇用創出に資する事業を実施した。（雇用期間は1年以内）							
	事業内容		実績		計画		差引	
			事業数	雇用人数	事業数	雇用人数	事業数	雇用人数
	農業振興		7件	9人	1件	4人	6件	5人
	未利用資源活用促進		1件	3人	1件	3人	0件	0人
	観光振興		1件	4人	1件	4人	0件	0人
	合計		9件	16人	3件	11人	6件	5人
	○地域人づくり事業委託料 36,032千円 地域のニーズに応じた人材育成及び就業支援(雇用拡大プロセス)、在職者の処遇改善を目的とした経営改善等の取り組み(処遇改善プロセス)を推進する事業について、公募により委託先を選定して実施した。（平成27年度への継続事業あり）							
	事業内容		実績		計画		差引	
	雇用拡大プロセス	商工業振興・農林業振興・福祉	8件	雇用型 26人 非雇用型 5人	5件	雇用型 22人 非雇用型 19人	3件	雇用型 4人 非雇用型 △ 14人
処遇改善プロセス	商工業振興	3件	賃上げ（一部見込）、正規雇用化（見込）	3件	賃上げ、定着率向上	0件	－	
○職員旅費 21千円 京都府緊急雇用対策事業に関する市町村担当者説明会（京都市） 2回								
主な財源	府補 緊急雇用創出事業補助金（10/10）			66,046千円				
評価・課題等	○起業支援型地域雇用創造事業については9事業を実施し、16人の方に対して雇用機会を提供した。また、地域人づくり事業のうち雇用拡大プロセス（人材育成必須）では8事業を実施し、26人の方に対する雇用機会の提供と5人の方に対する就業支援を行った。さらに処遇改善プロセスでは27社（うち26社は丹後機械工業協同組合実施）で延べ3事業を実施し、賃上げや正規雇用化等の在職者の処遇改善に取り組んだ。 ○府補助制度終了後も市内の雇用情勢等を踏まえて雇用機会の創出・提供に努める。							
事業所管課		商工観光部／商工振興課						

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	05就労支援事業																
細事業名	01 就職促進・人材確保対策事業				決算書 P.218															
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	① 定住の促進															
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率															
750千円		808千円		58千円	92.8 %															
					(参考) 当初予算額 2,368千円															
目的	京都府やハローワーク等の関係機関と連携して就職面接会を開催するほか、求人情報の提供や人材確保支援等の取組を行い、U・Iターンの促進と企業の成長を支援する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	○「ふるさと就職フェアin丹後」開催経費 612千円																			
	一般求職者、大学等卒業予定の学生、学卒未就職者及びU・Iターン希望者などを対象に、地元事業所が参加する就職面接会を開催した。																			
	・印刷製本費（ポスター80枚、チラシ40,000枚）				91千円															
	・新聞折込手数料（丹後2市2町域）				131千円															
	・会場設営委託料（アグリセンター大宮）				125千円															
	・広告料（αステーションスポットCM）				265千円															
	＜開催概要＞																			
	日時：平成27年3月7日（土）12時30分～16時00分																			
	会場：アグリセンター大宮（大宮町口大野）																			
	主催：京丹後市、ハローワーク（峰山・宮津）、京都府（丹後広域振興局、北京都ジョブパーク）																			
	内容：事前セミナー、企業PRコーナー、各種相談コーナー（就職個別相談、Uターン相談ほか）、就職面接会																			
	実績：参加企業数31社、参加者数111人																			
					<table><tr><td>区 分</td><td>男 性</td><td>女 性</td><td>計</td></tr><tr><td>学生等</td><td>18</td><td>14</td><td>32</td></tr><tr><td>一 般</td><td>52</td><td>27</td><td>79</td></tr><tr><td>計</td><td>70</td><td>41</td><td>111</td></tr></table>	区 分	男 性	女 性	計	学生等	18	14	32	一 般	52	27	79	計	70	41
区 分	男 性	女 性	計																	
学生等	18	14	32																	
一 般	52	27	79																	
計	70	41	111																	
○U・Iターン就職促進事業費補助金（3件）				109千円																
○インターンシップ人材確保支援補助金（1件）				5千円																
○職員旅費				24千円																
京都北部合同企業説明会（京都市）、京都北部U・Iターン総合就業フェア（京都市）ほか																				
主な財源																				
評価・課題等	○U・Iターン希望者や学生、在職者が参加しやすくするため、初めて土曜日に開催。2市2町域の新聞折込、広報紙、ホームページ、フェイスブック等の広報に加え、FMラジオを活用して都市部へも広く周知した結果、学生や20代を中心に参加者が大幅に増加した。○地元企業等への就職を促進するため、引き続き、U・Iターン希望者や学生を含め、より多くの求職者に参加していただけるような就職面接会を開催するとともに、ハローワーク等が主催する就職面接会に参画していく必要がある。																			
事業所管課		商工観光部／商工振興課																		

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	06職業能力向上支援事業																																		
細事業名	01 職業能力向上支援事業				決算書	P.218																																
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	① 定住の促進																																	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																
653千円		653千円		0千円	100.0 %	465千円																																
目的	スキルアップや就職に必要な知識・技能等の習得に要する研修費用を補助することで、労働者や求職者の職業能力の向上を支援し、雇用の安定化と就職促進を図る。																																					
主要な事務・事業及び成果の概要	○職業能力向上支援補助金				653千円																																	
	職業訓練法人丹後地域職業訓練協会等が実施する資格や技術を習得する研修を受講し修了された方（求職者、商工業等事業所の経営者及び従業員）に対し、自己負担した研修費用を対象に補助金を交付した。																																					
	・ 交付件数 118件 ・ 交付者数 70人 ・ 補助率 研修費用の2分の1以内（上限額：年間2万円/人）																																					
	(参考) 補助金交付実績 (単位：件、千円、人)																																					
	<table><tr><td>区分</td><td>H20</td><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td></tr><tr><td>交付件数</td><td>66</td><td>128</td><td>95</td><td>90</td><td>70</td><td>63</td><td>118</td></tr><tr><td>交付額</td><td>406</td><td>1,177</td><td>470</td><td>486</td><td>504</td><td>434</td><td>653</td></tr><tr><td>交付者数</td><td>45</td><td>95</td><td>59</td><td>57</td><td>47</td><td>50</td><td>70</td></tr></table>							区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	交付件数	66	128	95	90	70	63	118	交付額	406	1,177	470	486	504	434	653	交付者数	45	95	59	57	47	50
区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26																															
交付件数	66	128	95	90	70	63	118																															
交付額	406	1,177	470	486	504	434	653																															
交付者数	45	95	59	57	47	50	70																															
主な財源																																						
評価・課題等	労働者や求職者に補助金を交付することにより、スキルアップや就職に必要な知識や技能等の習得をしてもらいやすくなり、雇用の安定化と就職促進に資することができた。																																					
事業所管課		商工観光部／商工振興課																																				

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	06職業能力向上支援事業	
細事業名	02 職業訓練実施事業補助金				決算書 P.218
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	① 定住の促進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,897千円		3,024千円	127千円	95.8 %	3,024千円
目的	職業訓練の機会を提供する団体の運営・事業実施に係る経費に対し補助金を交付することにより、労働者や求職者の職業能力の向上を図る。				
主要な 事務・事業 及び成果の 概要	○丹後地域職業訓練協会運営費補助金 2,072千円 職業訓練法人丹後地域職業訓練協会が実施する労働者や求職者の職業能力向上を目的とした職業訓練講座（パソコン講座や簿記講座等）に要する経費に対し、補助金を交付した。 ・職業訓練講座：18講座（25コース）実施 ・受講者数：延べ352人（うち市内：延べ235人）				
	○職業訓練校補助金 825千円 京丹後市職業訓練校が実施する技能習得を目指すことを目的とした職業訓練講座（和裁、染色、着付け）に要する経費に対し、補助金を交付した。 また、卒業生や受講生の作品を「京丹後ちりめん祭」などのイベントにおいて展示し、技能習得の成果を発表した。 講座及び受講者数 ・和裁科：網野校7人 ・染色科（基礎Ⅰ）：峰山校7人、網野校6人 ・染色科（基礎Ⅱ）：峰山校6人、網野校6人 ・着付科：網野校10人 <卒業生・受講生による作品展示> ・第64回京丹後ちりめん祭（4月12日～13日 網野体育センター） ・京都ものづくりフェア2014（11月8日～9日 京都パルスプラザ）				
主な財源	府補	未来づくり交付金（職業訓練実施事業補助金）			1,400千円
評価・課題等	職業訓練の機会を提供する団体の活動に対し補助金を交付することにより、労働者や求職者にスキルアップや就職に必要な知識や技能等の習得をしてもらいやすい環境が整備でき、雇用の安定化と就職促進に資することができた。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	01商工総務費	50商工総務一般経費		
細事業名	01 商工総務一般経費				決算書	P.254
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,645千円		6,210千円		565千円	90.9 %	5,342千円
目的	商工業振興に係る業務を推進するために必要な経費及び公用車等の維持管理経費					
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	○公用車維持管理費 3,171千円 (燃料代、車検代、修理代、保険料等) ※商工観光部管理台数：9台					
	○商工観光部イベント用コピーカウント料 665千円					
	○公用車購入費 788千円					
	○公用車事故賠償金（1件） 67千円					
	○事務補助業務人材派遣委託料 954千円 (平成26年10月27日～平成27年3月31日、産休育休代替1人)					
主な財源	諸収入 市有自動車損害共済金					137千円
評価・課題等	商工業振興に係る業務の円滑化に資することができた。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	01商工会助成事業		
細事業名	01 商工会助成事業				決算書	P.254
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
81,158千円		81,676千円		518千円	99.3 %	80,656千円
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営相談等の支援活動、地域活性化事業等に対して補助金を交付し、商工業の総合的な振興・発展を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○小規模事業経営支援事業補助金					65,983千円
	京丹後市商工会による経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援し、商工業者の経営安定及び成長を図った。					
	・経営改善普及指導事業分					61,000千円
	(小規模事業者への経営指導、経営相談等の事業費及び指導職員の設置費)					
	・地域総合振興事業分					4,983千円
	(販路開拓、小売商業活性化、特産品づくり活動等)					
	○織物指導事業補助金					11,019千円
	延べ2,779件の織物指導、織機調整事業を支援し、丹後織物の技術の維持・継承と製品品質の確保を図るとともに、経営環境が厳しい織物事業者の経費負担の軽減を図った。					
	○地域活性化事業補助金					4,156千円
	市内産業及び丹後ちりめんの振興と地域活性化に資するイベントを支援した。					
イベント名		京丹後きもの祭		京丹後商工祭		
補助金額		656千円		3,500千円		
補助対象経費		1,524千円		6,335千円		
開催日		4月13日		11月2日、3日		
開催場所		網野神社		丹後あじわいの郷		
主な財源	府補 未来づくり交付金（織物指導事業費補助金）					5,000千円
評価・課題等	○商工会が行う事業に対して補助金を交付することにより、巡回指導の充実実施をはじめ、経営相談、金融斡旋など商工業者に対するさまざまな支援活動が行われるとともに、織物事業者への支援、産業振興に資するイベントなどが実施され、厳しい地域経済状況下において商工業の振興に資することができた。 ○会員へのサービス向上には努めているものの、厳しい経営環境や後継者不在による廃業等で会員離れが進行しており、引き続き地域経済活性化に向けた支援が必要である。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業		
細事業名	02 新経済戦略推進事業				決算書	P.260
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,146千円		1,303千円		157千円	87.9 %	2,604千円
目的	京丹後市商工業総合振興条例及び新経済戦略に基づく施策を計画的に推進するため、制度の周知等を図るほか、これら施策の評価・検討などを行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○京丹後市新経済戦略推進会議及び企画委員会の開催 221千円 京丹後市商工業総合振興条例及び新経済戦略に基づく施策を計画的に推進するため、施策の評価、検討などを行う新経済戦略推進会議及び企画委員会を開催。					
			開催日	構成委員（商工関係団体の代表者、有識者）		
	推進会議		5月29日、10月21日	委員17人、オブザーバー8人		
	企画委員会		9月26日	委員8人		
	・委員報酬		110千円	・消耗品費		55千円
	・費用弁償		56千円			
	○京丹後経済成長戦略新懇話会の開催 850千円 日本及び京都北部地域、そして京丹後市の経済活性化について、市民及び関係者などがともに考え、行動する契機とするための懇話会を6回開催。					
	開催日		テーマ		・参加者数 延べ730人	
	7月18日		我が国のイノベーション政策		・費用弁償 33千円	
	8月7日		中小企業・小規模事業者政策について		・会場借上料 171千円	
9月20日		地域医療と地方創生		・折込手数料 432千円		
10月23日		繊維産業の未来		・印刷製本費 214千円		
12月2日		最近の近畿管内の経済情勢等について				
1月31日		丹後と名古屋の大交流新時代				
○商工業総合振興条例及び新経済戦略プロジェクト100周知パンフレットの作製 ・印刷製本費（5,000部） 75千円						
主な財源						
評価・課題等	○京丹後市新経済戦略推進会議及び企画委員会において検討を行い、施策の計画的な推進を図ることができた。 ○京丹後経済成長戦略新懇話会の開催により、北近畿新時代に向けた産業の振興や活性化について考える契機とすることができた。 ○京丹後市商工業総合振興条例及び新経済戦略に基づく施策の検証とそれに基づく一層の効率的、効果的な推進が必要である。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	50商工振興一般経費	
細事業名	01 商工振興一般経費			決算書	P.260
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,173千円		3,180千円	7千円	99.7 %	2,364千円
目的	地域産業の活性化を図るために活動している団体に対し、その活動を支援するとともに、各種事業の実施により商工振興を図る。				
主要な 事業 及び 成果 の 概要	地域産業の活性化を図るため、産業団体や産業イベントに対する支援を行った。また「GS世代研究会」の活動に参加し、新ビジネス創出の取組などを推進した。 ○おおみや生き生きフェスタ産業文化祭開催費補助金 900千円 「薫る文化・伸びゆく産業」をコンセプトとして実施する「おおみや生き生きフェスタ2014」（産業文化祭）への支援を行った。 開催日：11月1日（日） 来場者数：約5,000人 ○丹後地域産業活性化推進会議負担金 1,100千円 KTR利用促進事業、先進地視察、人材育成事業、農・商工・観光連携事業等の活動への支援を行った。 ○出張旅費（普通旅費、有料道路通行料、駐車場使用料等） 1,102千円 GS世代研究会への参加など ○事務費（事務用品費、新聞購読料等） 71千円				
主な財源					
評価・課題等	○産業イベントに対する支援により、地域産業の活性化に寄与した。 ○おおみや生き生きフェスタ産業文化祭開催費補助金については、市の補助金に関する基本方針に基づき、見直しの検討を行っていく必要がある。				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	01 峰山織物センター管理運営事業		
細事業名	01 峰山織物センター管理運営事業				決算書	P.260
総合計画	基本方針	Ⅰ 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,569千円		3,734千円		165千円	95.5 %	3,530千円
目的	峰山織物センターを管理運営することで、市民の織物に関する知識の修得等に寄与するとともに、市民の福祉の増進を図る。					
主要な 事業・ 事業 及び 成果 の 概要	市民に安全かつ快適に施設を利用いただくため、適正な管理運営を行った。					
	○延べ利用人数		13,427人			
	○管理運営費		3,569千円			
	・宿日直代行業務委託料		1,486千円			
	・電気代、上下水道代		1,101千円			
	・機械警備委託料等		103千円			
	・土地借上料（203㎡）		412千円			
	・消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕料、備品購入費等		273千円			
	・電話代		45千円			
	・公有建物共済分担金、テレビ受信料等		21千円			
・峰山織物センター専用駐車場工事費		128千円				
○目的別利用件数		(単位：件)				
会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	その他	合計
151	165	123	65	521	30	1,055
○部屋別利用件数						
大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計		
520	178	74	283	1,055		
主な財源	使用料	公有財産使用料				116千円
	使用料	峰山織物センター使用料				136千円
評価・課題等	職業訓練、教室・サークル活動を行う施設として多くの利用があり、各種活動の推進に寄与した。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	02商工施設指定管理運営事業	
細事業名	01 指定管理施設運営事業				決算書 P.262
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率
5,282千円		5,395千円		113千円	97.9 %
					(参考) 当初予算額 5,488千円
目的	市内商工施設の適正な管理運営を行い、施設利用者の利便性の向上と、あわせて商工業の振興を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	大宮織物ホール、丹後商業活性化センター等の施設について、京丹後市商工会を指定管理者として管理運営を委託し、適正な管理運営を行った。				
	○指定管理委託料				4,432千円
	・大宮織物ホール				3,989千円
	施設利用者数：延231回、6,323人（太極拳、よさこい、ダンス等）				
	・丹後商業活性化センター				443千円
施設利用団体：1階＝間人連合区他					
2階＝京丹後市商工会丹後支所					
○火災保険料					86千円
・大宮織物ホール、丹後商業活性化センター、商工活性センター					
弥栄機業センター					
○土地借上料					334千円
・大宮織物ホール土地借上料（2,470㎡）					
○不動産鑑定委託料					430千円
・商工活性センター譲渡に係る不動産鑑定委託料					
主な財源	使用料	公有財産使用料			2,358千円
	諸収入	大宮織物ホール電気料			234千円
評価・課題等	指定管理者により市内商工施設の適正な管理運営を行うことで、施設利用者の利便性の向上につながるとともに、商工業の振興に寄与した。				
事業所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	50商工施設一般経費		
細事業名	01 商工施設一般経費				決算書	P.262
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	④ 商工業の振興	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
104千円		106千円		2千円	98.1 %	70千円
目的	商工業の振興に資する施設の維持管理を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○商店街駐車場外灯維持管理費（旧小谷医院跡地） （電気代）6千円 ○あしぎぬ苑水道料12千円 ○あしぎぬ苑管理委託料（委託先：鳥取老人会）52千円 ○弥栄機業センター電気代等負担金4千円 ○大宮織物ホール修繕料30千円					
主な財源	諸収入 弥栄機業センター光熱水費負担金					4千円
評価・課題等	商工業、織物業の振興を目的とした施設の適正な管理運営を行うことができた。					
事業所管課		商工観光部／商工振興課				